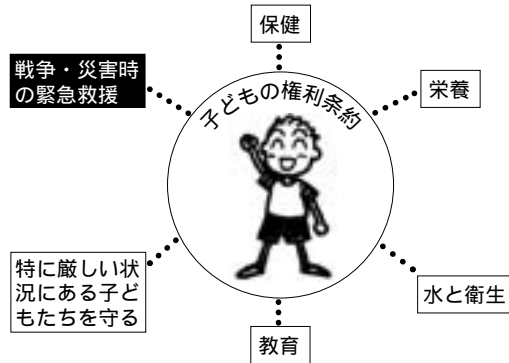


基礎講座

UNICEF

戦争や自然災害によって緊急事態が生じると、当事国、国連諸機関や国際NGOが連絡、調整しながら救援活動が行われます。ユニセフは子どもを最優先に、主に下記のような活動を行います。



第6回 戦争・災害時の緊急救援



©UNICEF/SUPPLY DIVISION

緊急事態に備えた物資調達・集積センターがコペンハーゲンにあり、48時間以内にとこへでも必要な物資を送れるようにしています。また、紛争が長引いている地域には、近隣にも物資調達用の倉庫が設けられます。



©UNICEF/94-0167/Betty Press

難民キャンプに基礎医薬品、食糧を届けます。あわせて、親に母乳育児の大切さや、子どもが下痢になった際の療法（経口補水療法）等の指導も行います。



©UNICEF/94-0168/Betty Press

安全な水の供給、破壊された給水施設の修理などを行います。



©UNICEF/HQ97-0753 / Radhika Chalasani

テント、毛布、衣類など生活に必要な物資をなるべくその国の中で調達できるようにします。物資の支援はその国や地域の産業に配慮する必要があります。



©UNICEF/94-0277/Betty Press

敵対している両者と交渉し休戦の日を設け、衛生状態の悪い難民キャンプで伝染病が広がらないように子どもたちに予防接種を行います。



©UNICEF/94-0478/John Moore

難民キャンプへ逃れてくる途中で家族とはぐれた子どもたちの写真を撮って、人が集まる所に掲示し、子どもが家族と再会できるようにします。



©UNICEF/95-0226/Jeremy Hartley

教育が中断しないように、教材セットを届けたり、学校の復旧を支援したりします。



©UNICEF/95-0896/Roger Lemoyné

突然の惨事で言葉や笑いを失うなど心に深い傷を負った子どもたちが、心の傷を癒せるように支援します。絵をかいたり劇を演じたりする表現活動を通して、心の中の恐怖を少しずつ外に出していきます。



©UNICEF/Roger Lemoyné

難民キャンプで性暴力から女性や子どもたちを守るために、夜間の照明を確保する他、水場までの道を広く安全にしたり、パトロールのボランティアを組織したりします。